

創世会
安田 彰



安田議員のすべての
一般質問が視聴
できます



女性役員が運営に参画する自治区を増やすために

Q 本年3月に策定された第4次掛川市男女共同参画行動計画では、女性役員が運営に参画する自治区の目標値を20%としている。この目標値達成のための具体策について伺う。



自治区の行事や活動を見直し、女性参画につなげていく

A 自治区の女性役員の参画は、区長会連合会での呼びかけなどによる意識啓発により、令和4年度は15%と少しずつ増加しています。今後、さらに女性の登用を図っていくため、若い世代でも役員を引き受けられるような工夫や、行事や活動の見直しなどにより、持続可能な自治区運営に向けた取り組みを進めることが、女性の参画に直接的に結びつくものと考えています。

小中学校の学校ホームページの改善を目指して

Q 学校現場の負担を軽減し、かつ学校の魅力を発信するためには、市教育委員会が中心になって、ホームページの形式や作成ソフトをそろえることが有効だと考えるが、見解を伺う。

小さい負担で情報発信できるような研究していく

A ホームページは、各校の魅力や情報を発信する窓口としての役割がありますが、情報発信の方法は、「eじゃん掛川」などを活用したブログ形式での発信を行っている学校が増えていきます。今後は、ホームページにこだわらず、各校の実態に応じて、できるだけ小さい負担で発信できるよう研究していきます。

共に創る掛川
富田まゆみ



富田議員のすべての
一般質問が視聴
できます



市民のごみ減量意識啓発の促進を

Q 市指定のごみ袋に、ごみ減量の目標値、ごみ処理にかかる経費、意識を高める情報や標語・スローガンなどをプリントすることが、さらなる市民のごみ減量意識の啓発に有効と考えるが、見解を伺う。

ごみ減量を進める施策のひとつとして検討していく

A ご提案のアイデアは、高い市民意識をさらに高める取り組みとして有効であると考えますので、新たなデザインでごみ袋を製造する費用対効果を検証し、今後、さらにごみ減量を進める施策のひとつとして検討していきます。

各課連携が図りやすくなると思われるが、見解を伺う。



カルテの電子化や電子母子手帳について研究していく

A 紙カルテの保管や情報整理・共有の面では、大変有効なものと考えますので、お問い合わせやケース対応を迅速に効果的に進めるためのシステム導入について研究していきます。電子母子手帳については、予防接種や乳幼児健診の実績など電子化することで、利便性の向上が期待されますが、手書きの成長記録など家族の愛情を感じられるものは大切にしたいと考えます。こちらについても、市民へのアンケートを行うなど、調査・研究していきます。

子育て情報の管理にデジタルを導入し利便性の向上を

Q 電子母子手帳の導入、健診カルテの電子化により、子育て世帯の利便性向上と情報の整理、

【その他の質問事項】
市民の皆さんからの声を聴く体制について